

職員による自己評価

- A環境面
○利用定員に対し支援室のスペースが適切
- B児童への支援内容
○個々の課題に合わせた目標を提案、個別プログラムを作成、エビデンスに基づき支援
- C関係機関との連携
○保護者の希ご望に応じ、学校と支援内容や支援方法の情報共有を行っている
△放課後児童クラブや地域の他のこどもと活動、交流する機会が少ない
- D保護者への説明責任・信頼関係
○ご相談に対し、対面の面談だけでなく、メールやLINEも活用して対応
△保護者同士の交流の促進
- E非常対応
○避難訓練の実施
○虐待防止研修の実施

保護者による評価

- A環境面
○利用定員に対し支援室のスペースが適切
- B児童への支援内容
○個別のニーズをくみ取って放課後等デイサービス計画が作成され、沿った支援が提供されている
△放課後児童クラブや地域の他のこどもと活動、交流する機会が少ない
- C事業所からの情報発信
○家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の機会が提供されている
○定期的な面談を通じて、支援状況、発達段階の共通認識を深め、必要に応じて助言を受ける機会がある
△父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催
- D非常対応
△策定されたマニュアルの周知がされていない

事業所内での分析

【共通点】

- ・利用定員に対し支援室のスペースが適切
- ・個々の課題に合わせて放課後等デイサービス計画が作成され、沿った支援が提供されている
- ・面談を通じて、情報共有やご相談の機会が持っている
- ・放課後児童クラブや地域の他のこどもと活動、交流する機会が少ない
- ・保護者同士の交流の場が少ない

【相違点】

- ・策定されたマニュアルの周知がされていない

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・個々の課題に合わせた目標を提案、個別プログラムを作成、エビデンスに基づいて支援を行っている
- ・学校と支援内容や支援方法の情報共有を行っている
- ・面談、メール、LINEにてご相談に対応

事業所の改善点

- ・放課後児童クラブや地域の他の子どもと活動、交流する機会が少ない
- ・保護者同士の交流の場が少ない
- ・策定されたマニュアルの周知がされていない

事業所の改善への取り組み

- ・放課後児童クラブや地域の他の子どもと活動、交流する機会を増やす事を検討
⇒放課後児童クラブ、学校の学童を利用する機会がある子どもが多い為、ニーズの確認を進める。
⇒安全管理に十分な職員配置が可能な際、公園遊びや外出プログラムの実施を増やしていく。
- ・保護者同士の交流の場を作る検討を進める
⇒来年度以降、グループ活動内容の定期的な発表という形で参観日を増やしていく事や、参観日に保護者会の時間を設定するといった事を検討していく。
- ・策定されたマニュアルの周知がされていない
⇒保護者が閲覧できる場所に配置を進める。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・支援の質というところで評価を頂けていて安心した。ご家族の信頼を維持できるよう、更なる質向上に努めたいと思った。
- ・普段直接聞く機会がない保護者の率直な評価を伺う事ができて良かった。今回ご提出頂けなかったご家族のご意見も反映していけるよう、アンケートによりご参加していただきやすい仕組みを検討していきたい。
- ・こちらからの一方的なコミュニケーションではなく、保護者との双方向の風通しの良いコミュニケーションが図れるよう、働きがけを増やして／工夫していきたいと感じた。

事業所名 発達療育 レンテ

担当者 児童発達支援管理責任者 北原 亜紀